



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定める日
定時株主総会	毎年6月開催
公告方法	電子公告 http://tigers.jp/ ただし、電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
証券コード	4231
株主名簿管理人	東京証券代行株式会社 東京都千代田区大手町二丁目6番2号（日本ビル4階）
郵便物送付先・連絡先	〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 東京証券代行株式会社 事務センター ☎0120-49-7009 ※取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
住所変更・単元未満株式の 買取・買増等のお申出先	お取引口座のある証券会社にお申し出ください。ただし、特別口座に記録された株式に係る各種手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である東京証券代行株式会社にお申し出ください。
未支払配当金のお支払い	株主名簿管理人である東京証券代行株式会社にお申し出ください。
配当金計算書	配当金お支払いの際にご送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。 なお、株式数比例配分方式をご選択されている株主さまにおかれましては、お取引の証券会社等にご確認ください。 また、配当金領収証で配当金をお受取りの株主さまにつきましても、配当金のお支払いの都度、「配当金計算書」を同封させていただいております。

タイガースポリマー株式会社

大阪府豊中市新千里東町一丁目4番1号
TEL 06-6834-1551 http://tigers.jp/

第73期

報告書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

タイガースポリマー株式会社

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、第73期報告書（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）をお届けするにあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、消費税率引き上げの影響がありました。企業収益の拡大、雇用・所得環境の改善、株価上昇による資産効果を追い風に、期の後半は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、海外では、米国は株高に加え個人消費が良好であり、安定した成長となりました。中国におきましても、過剰生産能力の問題や不動産市況の冷え込みなど景気の下押し要因がありましたものの、高い成長率を維持しました。

このような環境の下、当社グループの業績につきましては、日本、米州、東南アジア、中国の全ての地域で売上高が増加いたしました結果、当社グループの連結売上高は、406億15百万円（前期比54億32百万円 15.4%増加）となりました。損益面では、増収の影響などにより全ての地域で増益となりましたことに加え、円安による為替換算の影響がありました結果、営業利益は23億63百万円（前期比8億40百万円 55.2%増加）、経常利益は27億63百万円（前期比12億80百万円 86.3%増加）、当期純利益は20億22百万円（前期比12億14百万円 150.1%増加）となりました。

なお、当期の期末配当につきましては、2円増配の1株につき8円にさせていただきます。

当社グループは、当連結会計年度におきまして、連結の売上高、利益ともに過去最高となりました。しかしながら、円安の進行が売上高と利益を押し上げた部分もあり、慎重に評価する必要があると考えております。

つきましては、今後も持続的な成長の実現に向けて、当社グループでは、「売上・収益計画の必達」、「連結経営の強化」および「企業体質の強化」を掲げ、下記項目を推進してまいります。

代表取締役社長

渡辺 健太郎



売上・収益計画の必達

- ・製品の質を高め、お客さまの満足と信頼を得ることにより、市場でのシェアを上げる
- ・開発部門、営業部門の創意に満ちた闊達な活動により、新製品・技術を開発し、新しいお客さまを開拓する
- ・製造拠点における高効率化・高生産性を推進する
- ・原材料調達能力の強化とサプライヤーの集約により、コストの削減を図る
- ・経費については無駄を省き、特に物流費を削減する

連結経営の強化

- ・材料、部品、金型等について、世界市場を比較した上で、最適グローバル調達を進める
- ・海外拠点の競争力およびリスク管理を強化して、収益性を確保する
- ・東南アジア市場の開拓

企業体質の強化

- ・コーポレートガバナンス、コンプライアンスのさらなる充実
- ・新システムへの移行、生産性アップのためのITの活用

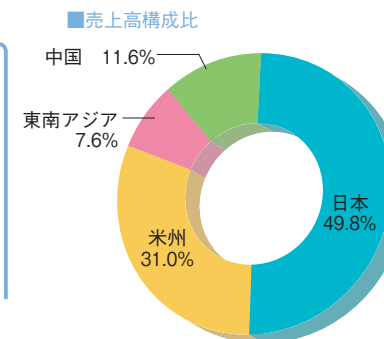
株主の皆さまにおかれましては、今後ともより一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年6月

地域別の概況

日本

ゴムマット、家電用ホースの販売は減少いたしました。自動車部品の販売が大幅に増加したことに加え、産業用ホース、ゴムシートの販売も順調に推移いたしました結果、売上高は217億18百万円（前期比13億98百万円 6.9%増加）となりました。営業利益は、増収の影響により、11億52百万円（前期比3億87百万円 50.6%増加）となりました。



米州

米国では、自動車部品は、販売が増加したことに加え、為替換算の影響がありましたことにより、増収増益となりました。産業用ホースは、販売が増加いたしましたものの、原材料費や諸経費が増加したことにより、増収減益となりました。メキシコでは、操業開始に伴い増収効果がありました。この結果、売上高は135億17百万円（前期比30億37百万円 29.0%増加）、営業利益は6億44百万円（前期比2億79百万円 76.6%増加）となりました。

東南アジア

マレーシアでは、家電用ホースの販売が増加いたしました。タイでは、自動車部品の販売が増加したことに加え、為替換算の影響がありましたことにより、増収増益となりました。この結果、売上高は33億38百万円（前期比4億17百万円 14.3%増加）、営業利益は2億19百万円（前期比24百万円 12.6%増加）となりました。

（注）地域別の売上高および営業利益は、地域間取引消去前のものです。

中国

家電用ホースの販売は減少いたしました。自動車部品の販売が増加したことに加え、為替換算の影響がありましたことにより、売上高は50億52百万円（前期比11億16百万円 28.4%増加）となりました。営業利益は、増収の影響により、2億42百万円（前期比69百万円 39.9%増加）となりました。

自動車部品



エアクリナー



HVACダクト

ゴムシート



ゴムシート

ホース



家電用（洗濯機用ホース）

連結業績

売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
406億15百万円	23億63百万円	27億63百万円	20億22百万円	101.08円
前期比	前期比	前期比	前期比	前期比
54億32百万円 UP	8億40百万円 UP	12億80百万円 UP	12億14百万円 UP	60.67円 UP

代表取締役会長澤田博行 逝去のお知らせ



代表取締役会長澤田博行は、平成27年3月25日に逝去いたしました。（享年75歳）




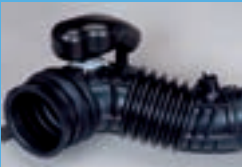

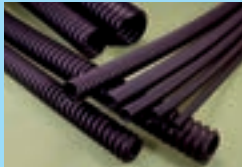
生前のご厚誼に深謝し、謹んでお知らせ申し上げます。
昭和42年に代表取締役社長に就任、平成21年には代表取締役会長に就任し、長きにわたり、タイガースポリマーの経営に力を尽くしてまいりました。
また、5月21日には当社主催の「お別れの会」を執り行い、多数の方々にご参会賜りましたことを厚く御礼申し上げます。

日本・米州・アジアの三大拠点で、 グローバルな生産体制を構築

当社は、家電、自動車メーカー等の海外生産の拡大に対応するために、早くから海外へ進出し、生産供給拠点のグローバル化・現地化を進めてきました。現在では、米国・メキシコ・タイ・マレーシア・中国の5ヶ国7ヶ所に生産供給拠点をもち、グローバルな生産・供給体制を構築しています。当社は、ユーザーの海外生産移転に対する迅速・的確な対応をはじめ、優れた製品開発技術力、商品力、提案力等により、海外生産のベストパートナーとして、数多くのユーザーと強固な信頼関係を築いています。

独自性の高い新製品の提供で、 常に市場ニーズを先取り

当社は、新製品・改良製品の開発体制の強化を最重要課題に、基礎技術、商品開発技術、製造技術等の技術開発に力を注いでいます。材料から加工・金型・設備まで、ゴム・樹脂製品を開発するための基本技術をすべて自社で保有しているため、開発スピードが速く、独自性の強い新製品を常に提供することで市場から高い評価を得ています。より高品質の製品をより効率的に生産するために、製造設備・生産技術の改良やコストダウンに取組むとともに、ホース、ゴムシート、成形品の各部門にわたり、常に市場ニーズを先取りした研究開発に挑戦し続けています。

自動車部品	ゴムシート	ホース
 バッテリー冷却システム	 ウレタンゴム成形品	 産業用（土木用耐摩ホース）
 エアクリーナーホース	 シリコンスポンジ	 産業用（地中埋設管）

タイガースポリマーグループ の生産・開発拠点



① 栃木工場（栃木県塩谷郡）
製造品目：家電用ホース・産業用ホース・樹脂成形品



② 静岡工場（静岡県掛川市）
製造品目：産業用ホース



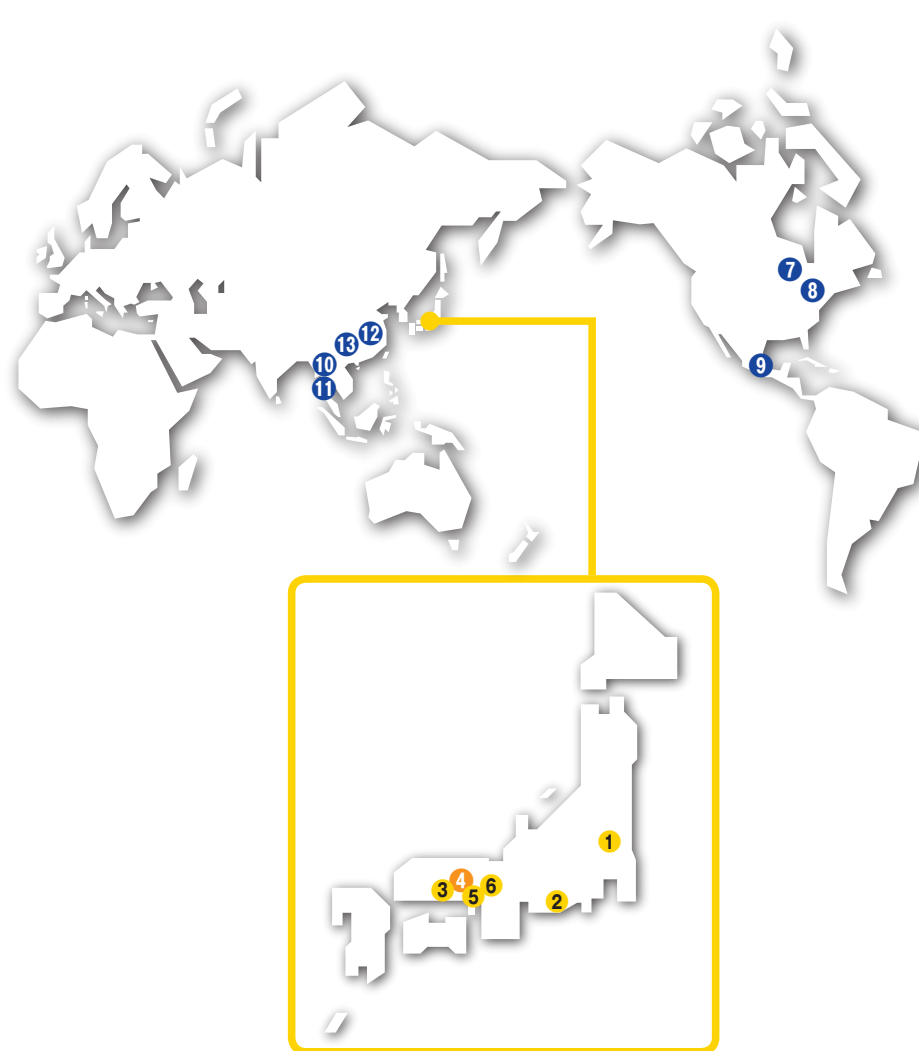
③ 岡山工場（岡山県備前市）
製造品目：ゴムシート・ゴムマット



④ 開発研究所（神戸市西区）



⑤ 武庫川化成株式会社（兵庫県尼崎市）
製造品目：家電用ホース



⑦ Tigerflex Corporation（米国イリノイ州）
製造品目：産業用ホース



⑧ Tigerpoly Manufacturing, Inc.（米国オハイオ州）
製造品目：ゴム成形品・樹脂成形品



⑨ Tigerpoly Industria de Mexico S.A. de C.V.（メキシコグアナフアト州）
製造品目：ゴム成形品・樹脂成形品



⑩ Tigerpoly (Thailand) Ltd.（タイ国アユタヤ県）
製造品目：家電用ホース・ゴム成形品・樹脂成形品



⑪ Tigers Polymer (Malaysia) Sdn.Bhd.（マレーシアジョホール州）
製造品目：家電用ホース



⑫ 杭州泰賀塑化有限公司（中国浙江省杭州市）
製造品目：家電用ホース・ゴム成形品・樹脂成形品



⑬ 高槻化成有限会社（大阪府高槻市）
製造品目：ゴム成形品・樹脂成形品



⑭ 広州泰賀塑化有限公司（中国広東省広州市）
製造品目：ゴム成形品・樹脂成形品

(注) 平成27年5月20日、高槻化成有限会社は株式会社へ移行し、社名を高槻化成株式会社に変更いたしました。

連結貸借対照表 (要旨)

(単位: 百万円)

科 目	当期 (H27.3.31現在)	前期 (H26.3.31現在)
(資産の部)		
流動資産	22,333	19,678
固定資産	15,239	13,863
有形固定資産	12,083	11,103
無形固定資産	322	294
投資その他の資産	2,834	2,465
資産合計	37,573	33,542
(負債の部)		
流動負債	8,313	7,560
固定負債	2,878	2,777
負債合計	11,192	10,337
(純資産の部)		
株主資本	23,024	21,559
資本金	4,149	4,149
資本剰余金	3,900	3,900
利益剰余金	15,030	13,560
自己株式	△ 55	△ 51
その他の包括利益累計額	2,432	864
その他有価証券評価差額金	775	498
為替換算調整勘定	1,700	559
退職給付に係る調整累計額	△ 43	△ 194
少数株主持分	922	780
純資産合計	26,380	23,204
負債及び純資産合計	37,573	33,542

連結株主資本等変動計算書 (要旨)

(単位: 百万円)

当 期 (H26.4.1から H27.3.31まで)	株 主 資 本					その他の包括 利益累計額	少数株主持分	純資産合計
	資 本 金	資本剰余金	利益剰余金	自 己 株 式	株主資本合計			
当期首残高	4,149	3,900	13,560	△ 51	21,559	864	780	23,204
会計方針の変更による累積的影響額	—	—	△ 313	—	△ 313	—	—	△ 313
会計方針の変更を反映した当期首残高	4,149	3,900	13,247	△ 51	21,246	864	780	22,891
当期変動額								
剰余金の配当	—	—	△ 240	—	△ 240	—	—	△ 240
当期純利益	—	—	2,022	—	2,022	—	—	2,022
自己株式の取得	—	—	—	△ 3	△ 3	—	—	△ 3
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	—	—	—	—	—	1,568	142	1,710
当期変動額合計	—	—	1,782	△ 3	1,778	1,568	142	3,489
当期末残高	4,149	3,900	15,030	△ 55	23,024	2,432	922	26,380

連結損益計算書 (要旨)

(単位: 百万円)

科 目	当期 (H26.4.1から H27.3.31まで)	前期 (H25.4.1から H26.3.31まで)
売上高	40,615	35,182
売上原価	32,828	28,924
売上総利益	7,786	6,257
販売費及び一般管理費	5,423	4,735
営業利益	2,363	1,522
営業外収益	456	251
営業外費用	55	290
経常利益	2,763	1,483
特別利益	297	12
特別損失	248	22
税金等調整前当期純利益	2,812	1,472
法人税、住民税及び事業税	655	533
法人税等調整額	55	26
少数株主損益調整前当期純利益	2,102	912
少数株主利益	79	103
当期純利益	2,022	808

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位: 百万円)

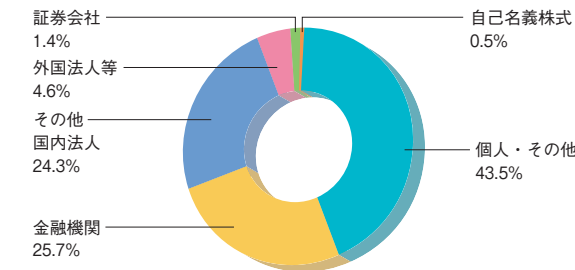
科 目	当期 (H26.4.1から H27.3.31まで)	前期 (H25.4.1から H26.3.31まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,781	2,397
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,800	△ 3,039
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 496	713
現金及び現金同等物に係る換算差額	275	503
現金及び現金同等物の増減額	759	575
現金及び現金同等物の期首残高	5,887	5,312
現金及び現金同等物の期末残高	6,646	5,887

株式の状況 (平成27年3月31日現在)

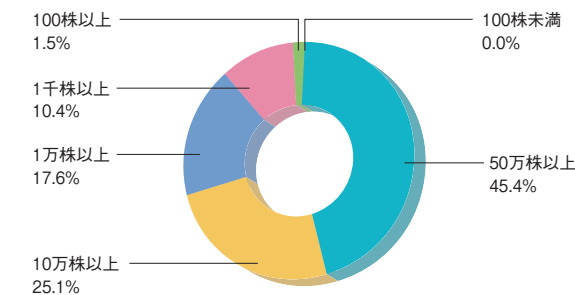
●発行可能株式総数	80,000,000株	
●発行済株式の総数	20,111,598株	
●株主総数	2,785名	
●大株主		
株 主 名	持 株 数	持 株 比 率
タイガー興産有限会社	1,965 千株	9.8 %
タイガース取引先持株会	1,329	6.6
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社 (信託口)	1,086	5.4
株式会社三菱東京UFJ銀行	979	4.9
澤 田 宏 治	888	4.4
T.P.C持株会	885	4.4
株式会社京都銀行	776	3.9
澤 田 博 行	600	3.0
タイガースポリマー従業員持株会	574	2.9
三井住友信託銀行株式会社	474	2.4

(注) 1. 持株比率は自己株式 (103,089株) を控除して計算しております。
2. 平成27年3月25日、澤田博行氏は逝去されましたが、相続手続き未了のため、株主名簿上の名義で記載しております。

●所有者別株式分布状況



●所有株数別株式分布状況



会社の概要 (平成27年3月31日現在)

商 号	タイガースポリマー株式会社 TIGERS POLYMER CORPORATION
設立年月日	昭和23年12月20日
本店所在地	大阪府豊中市新千里東町一丁目4番1号
資 本 金	4,149,555,676円
従 業 員 数	連結: 1,865名 単独: 526名
事 業 の 内 容	合成樹脂、ゴムおよびそれらの複合資材をもとに、ホース、ゴムシート、成形品、その他金型などの製造販売
事 業 所	本社・東京支店・名古屋支店・大阪支店・ 広島支店・福岡支店・仙台営業所・栃木工場・ 静岡工場・岡山工場・開発研究所
グループ会社 (主要な連結子会社)	Tigerflex Corporation (米国) Tigerpoly Manufacturing, Inc. (米国) Tigerpoly Industria de Mexico S.A. de C.V. (メキシコ) Tigerpoly(Thailand)Ltd. (タイ国) Tigers Polymer(Malaysia)Sdn.Bhd. (マレーシア) 杭州泰賀塑料有限公司 (中国) 広州泰賀塑料有限公司 (中国) 武庫川化成株式会社 (兵庫県) 高槻化成有限会社 (大阪府) 大阪タイガース工販株式会社 (兵庫県) (注)平成27年5月20日、高槻化成有限会社は株式会社へ移行し、社名を高槻化成株式会社に更改いたしました。
主要取引銀行	株式会社三菱東京UFJ銀行 株式会社京都銀行 三井住友信託銀行株式会社

役員 (平成27年3月31日現在)

代表取締役社長	渡 辺 健 太 郎
専 務 取 締 役	澤 田 宏 治
常 務 取 締 役	木 戸 俊 明
常 務 取 締 役	佐 々 木 寛 人
取 締 役	高 良 晴 信
取 締 役	源 田 定 雄
常 勤 監 査 役	寺 村 洋 一
監 査 役 (社外)	大 川 治 則
監 査 役 (社外)	薩 摩 嘉 則